

三菱造船(株)の事業基盤強化計画(抜粋)

企業概要

- 2018年1月1日に三菱重工の造船事業を事業継承して設立。
三菱重工の造船の歴史は古く、その起源は1884年までさかのぼる。
- 官公庁船やフェリー等の艤装密度の高い船種を中心として取組む造船事業に加え、これまでガス船建造で蓄積されたOil&Gas技術やインテグレーションのノウハウを活かした海洋エンジニアリング事業を新たなビジネスモデルとして展開し、二つの軸足から顧客価値の向上を図る。



計画の概要

- 主力建造船である内航フェリー、Ro-Ro船、自動車運搬船等において、従来の重油焚き船舶でなく、低・脱炭素化に向けたLNG等の代替燃料を使用する内航船舶を開発・建造する。
- 「海の脱炭素化社会」の実現に向け、液化CO₂輸送船、大型液体ガス輸送船(LPG・アンモニア)、アンモニア燃料船、バッテリー船等の技術開発を進めるとともに、船舶の自動化・自律化による海上交通の円滑化等にも取り組み、更なる競争力強化を図る。



<計画実施期間> 2021年11月～2026年3月

<実施場所> 本社(神奈川県横浜市)

下関造船所江浦工場(山口県下関市)

